

EXPO'70
パビリオン
(吹田市)

みゅ〜
ザ・見遊じあむ

69



ミュージアムメモ

▶所在地/吹田市千里万博公園
10-10 ▶交通/大阪モノレール
「万博記念公園駅」下車徒歩15分
▶開館時間/10時~17時(入館は
16時30分まで) ▶休館日/毎週水
曜日(祝日の場合はその翌日)、
12月28日~翌年1月1日 ▶入場料
/常設展で高校生以上200円、中
小学生以下無料。(但し、自然文化
園入園料が別途必要。大人250
円、小中学生70円) ▶連絡先/電
話06-6877-4737



なつかしいパビリオンの
模型も展示しています

あの「万博の時代」に
タイムスリップしては?

題を呼びましたが、40歳代
半ば以上の人なら、あの時
の熱気を記憶にとどめてい
る人は多いことでしょう。
このパビリオンは昨年(2
010年)3月、万博開館
40周年を記念して開館しま
した。当時の展示館で唯一
保存されていた旧「鉄鋼

41年たった「いまの日本」
を見つめるよい機会になる
かもしれません。

1970年、アジアで初
めて開催された「日本万国
博覧会」(通称「万博」)。
「人類の進歩と調和」をテ
ーマに開催された万博は6
422万人という入場者数
を記録し、「20世紀最大の
祭典」といわれました。万
博は、企画内容に対する賛
否も含めて様々な議論と話

館」を改装して、万博当時
の記録を展示しています。
未公開を含む約3000点
の資料、写真、映像など
で、当時の模様を再現。日
本中が熱気と興奮に沸いた
あの時代にタイムスリップ
してみるのはいかがでしょ
うか?あの時、国民が夢に
描いた「未来の日本」と、

プリンセストヨトミ



「大阪国」が存在する?

作家・万城目学さん初の長
編作品を映画化しました。大
坂夏の陣で豊臣家が滅亡した
あと、400年にわたり「あ
るもの」を守り続けてきた大
阪に住む男たちと、それを知
らずに中央から大阪にやって
きた会計検査院メンバーとの
攻防を軸に、5月の10日間を
描きます。

作家・万城目学さん初の長
編作品を映画化しました。大
坂夏の陣で豊臣家が滅亡した
あと、400年にわたり「あ
るもの」を守り続けてきた大
阪に住む男たちと、それを知
らずに中央から大阪にやって
きた会計検査院メンバーとの
攻防を軸に、5月の10日間を
描きます。

も完璧なために疑問を抱
きます。そして実地調査
に訪れた「OJO」という団
体の真実を知ります。それは
「大阪国」という独立国をも
ち、総理大臣もいることを知
ります。補助金は「あるも
の」を守り続ける資金でし
た。補助金をめぐる会計検査
院と「大阪国」との攻防は府
庁前での対決でクライマック
スに…。

このシネマ
ガレージ

大阪の
戦跡を歩く

第68歩

戦災殉難地の碑

(堺市)

毎年7月10日は、碑文の前で平和の集いが開かれます



1945年(昭和20年)7月10日未明の
堺大空襲で、狭い市街地に700トンも
の焼夷弾が落とされ、ほとんどが焼け
野原になりました。7万人以上が住む
家を失い、3000人以上の死者が出た
との記録がありますが、後の市民団体に

よる調査では、その倍以上の犠牲者が
いたといわれています。南海本線堺市
駅前には「戦災受難の地」の碑が立っ
ており、詩人・坂村真民氏の「念ずれ
ば花ひらく」の詩文が記されていま
す。

撰津
河内
和泉
三國誌
おおさか

69

(交野市)

七夕伝説と機物神社
ロマンチックな地名と
伝承が残るまち

交野市は七夕や星に関わるロマンチックな伝
説や地名が多く残されています。七夕伝説は、
今から約1600年ほど前に、中国大陸から養
蚕と機織の技術を日本に伝えるために移り住ん
だ渡来人によって語り継がれたといわれていま
す。交野市の倉治地域には、渡来人であった秦
(はた)氏の祖先を祭る「機物(はたもの)神
社」があります。古代から伝わる七夕伝説とも
相まって、機織りの神様の「織姫(おりひ
め)が神社の祭神となり、神社の名前も、渡来
人の名にちなんでいた「秦者(はたもの)」か
ら、いつしか「機物(はたもの)」に変わった
と言われていきます。平安時代になるとこの地域
は、天皇や貴族が狩りをする別荘地となり、宮



ハート型の石碑もあり
ます

廷人による歌会も催されました。「一年に一
夜と思へど たなばたの 逢い見む秋の限りなき
哉」という紀貫之の歌(拾遺和歌集)もここで
詠まれました。機物神社の近くの川には
「天の川」という名前がついており、川に架か
る橋は「逢合橋」と名づけられています。橋を
渡ると、神社の対岸に位置する中山観音庵寺跡
には牽牛を祭った石(牽牛石)があります。
「七夕祭り」が盛んな地域は全国に数多くあり
ますが、地域全体にこれほどの七夕伝説の地名
や伝承が残っているのは、交野市において他
にはありません。ここは日本における七夕伝説発
祥の地でもあるといえるでしょう。

いまも心に響く
名詩・名歌・名語録

じんかん
人間到る処青山有り

月性

「この広い世の中には、どこに行っても、そこに骨を埋めるにふさわしい青々とした美しい山があるのではないか」という幕末の勤王僧・月性(げっしょう・1817~1858)の句です。周防の国(現在の山口県)の妙円寺本願寺派の僧として、吉田松陰や久坂玄瑞とも親交があり、各地で国防の強化を遊説したことから、「海防僧」とも呼ばれました。

恋は人の心に、ものに感じやすい繊細な感情を呼び起こすという
意味です。古代ギリシャの哲学者・プラトンは、ソクラテスの弟子
でアリストテレスの師でした。精神的な恋愛を意味する言葉「プラ
トニック・ラブ」は、プラトンの名前に由来しています。

プラトン

恋に肩をたたかれたときには
常日頃は詩的な調べに耳をかさないような男でさえ
詩人になるのである